

 令和3年度～令和7年度(5年間)

地方創生 第2期うきは市ルネッサンス戦略 PDCAシート



基本方針



1) うきはの資源活用と新たな雇用の創出



2) 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み



3) 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市



4) 時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携

1)うきはの資源活用と新たな雇用の創出(戦略P119)

概要	うきは市に存在する多様な資源を活かして、新たな産業の創出を図るとともに、既存の事業所への事業承継支援を行い、雇用の場を確保します。 これにより、現在大きな社会減を示している若い世代について、高校卒業後の地元就職、大学卒業後の地元回帰等を促進するとともに、起業・創業者等の積極的な呼び込みを図ります。	KPI	市民一人当たりの年間所得額	
		現状値	2,398千円	H29年度
ねらい	うきは市の特徴として、豊かで美味しい地下水や温泉、フルーツと、これらを目的とした観光などがあります。一つひとつを磨き上げ、活用し、上手に連携させていくことで、多くの人が魅力を感じるブランドへと作り上げていきます。	目標値	2,600千円	R7年度
		最新値	2,171千円	R3年度

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容(又は取り組まない理由)	進捗状況
1 農業やうきはの水、テロワールを伝承する						
KPI 新規就農者数	農林振興課	農政係	平成22年度以降累計 179人→230人		236人	令和5年度
①収益性の高い農業への転換等の支援	農林振興課	農政係	・産地形成による作物栽培支援	○	産地維持のため、ハウス施設整備、機械等の導入を行った。	A
	農林振興課	農政係	・新品種栽培等に対する支援や複合的農業経営への転換の推進	○	収益性の高い作物への切り替えや新品種の導入を推進した。	B
	農林振興課 うきはブランド推進課	農政係 商工振興係	・高付加価値化や農商工連携、6次産業化を推進	○	企業と連携を行い、うきは産農産物を活用した。	B
	農林振興課	農政係	・販売力強化と販路拡大の取組	○	福岡市中央卸売市場等で産地PRを行った。	B
	農林振興課	農政係	・農業生産法人や民間企業と連携した共同経営による農業振興	○	農業生産法人の作業受委託のとりまとめや、農地の大区画化を進めた。	A
	農林振興課	農政係	・農地へのITセンサー導入やドローンによる薬剤散布等のスマート農業を行う農業者への経済的支援	○	JAにじイチゴ部会に対して、スマート栽培システムを導入した。 また、スマート農業機械の導入に取り組んだ。	A
②農林業の担い手の育成、支援	農林振興課	農政係	・就農希望者に対する恒常的な相談窓口の設置や専門相談員の配置	○	市・JA・普及センターによる相談会を毎月開催した。	A
	農林振興課	農政係	・新規就農者への総合的な研修	○	新規就農者面談会を開催した。また、随時相談を受け付けた。	A
	農林振興課 うきはブランド推進課	農政係 地域振興係	・居住用家屋の確保と就業地のあっせんをワンセットにした支援	○	農地については、貸付希望一覧を整理し、窓口縦覧を行った。 就農希望者の受け入れ先として、お試し居住ハウスを設置した。	B
	農林振興課	農政係	・新規就農者を受け入れる農業生産法人の活動支援	○	トマトの就農希望者を、うきはレインボーファームの研修生として受け入れた。また、果樹については、事業継承を行うことで、新規就農者の早期独立に向けた取り組みを行った。	A
③良質なうきはの地下水や生物多様性のPR	水環境課	水資源対策係	・地下水の水質のモニタリングや、うきはの水資源について広報紙やホームページ等で広くPR	○	地下水の水位・水質及び河川の水質の観測を継続的に実施し、水資源に関する広報紙やホームページでの積極的なPRを図っていく。	A
	水環境課	水資源対策係	・生物多様性に関する市内調査と保全活動に伴う戦略の展開	○	生きもの調査(自然観察会)の実施、ミニシンポジウム及び観察会の実施、自然観察を目的としたモデルコースの設定を行う。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容(又は取り組まない理由)	進捗状況
2 うきはのブランド力を高めます						
KPI 観光入込客数	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	240万人→250万人		221万人	令和5年度
①地域産業資源の洗い出しと商品企画	うきはブランド推進課	商工振興係 ブランド戦略係	・うきはブランドの構築に寄与する新商品や企画、サービスとなり得る素材の活用や認知度向上に取り組む事業者等の支援	○	大阪の阪神百貨店において、市内16事業者の商品プロモーションを目的とした販売支援を実施した。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係 ブランド戦略係	・既存の地域資源を活用した商品開発やうきはブランド力の維持向上	○	道の駅うきはと連携し、商品開発協議を通年通して実施した。	B
	うきはブランド推進課	商工振興係	・社会課題の解決に向けて新しいサービスの開発や提供を担う事業者の支援	○	社会課題解決プロジェクト事業費補助金事業を実施し、社会問題の解決に向けて取組を行った。	B
②DMOを中心とした観光振興におけるマーケティングと広報戦略の立案	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・SNSやブログ解析等でのターゲットを絞った観光入込客への広告戦略の立案	○	観光ポータルサイトのリニューアルに伴い、アクセス解析を定期的実施し、福岡都市圏をメインターゲットとした広告を展開した。	B
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・DMOによる観光振興の推進と地域の稼ぐ力を引き出す観光地経営の視点に立った観光地域づくりの実現	○	観光満足度調査として来訪者を対象とした定点アンケートを実施し、結果を観光関連事業者と分析・共有しながら観光促進や課題共有に取り組んだ。	B
③商品の販路開拓	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・関係人口やパートナー企業等と連携した市場ニーズにあった商品の販路開拓	○	企業パートナーである「ピエトロ」で、うきは産フルーツ(ブルーベリー・シャインマスカット・いちご)を使用したデザートメニューの開発・販売を行った。	A
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・地域おこし協力隊の活用やふるさと納税の増加策の推進	○	・地域おこし協力隊による市内農産物を活用した商品開発を行った。	A
④温泉街のブランドづくり	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・市内温泉街の観光客回帰に向けた、関係者間の協力によるブランドづくりの推進	○	・宿泊者向けタクシークーポン、市内観光クーポン助成事業を実施した。	B
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・新しい生活様式に対応した取組と旅行プランの開発支援	○	団体客でなく個人客をターゲットとした体験コンテンツ(リトリートうきは)の造成を行った。	B
⑤道の駅開発事業	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・道の駅の増強による誘客につながる開発整備の検討	○	九州じゃらん「好きな道の駅ランキング」8年連続1位を獲得する人気の保持や更なる誘客を目的とし、物産館の改修設計を実施した。	A
3 事業や仕事をしたい希望を叶える						
KPI 創業支援実現数	うきはブランド推進課	商工振興係	平成27年度以降 93名→186名		167名	令和5年度
①児童生徒の地元企業探訪支援	うきはブランド推進課	商工振興係 ブランド戦略係	・高校生以下の地元企業現地視察やインターンシップとまちづくり活動への協力の取組	○	キャリア教育を目的とし、浮羽実業高校の生徒と市内事業者をマッチングするうき活事業の試行版を開始した。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・就業希望者と地元企業のマッチング	○	無料職業紹介所事業を行い、53名の就職につながった。	A
②創業支援の充実	うきはブランド推進課	商工振興係	・創業希望者に対する起業から起業後のアフターフォローまでの伴走型による支援	○	創業スタートアップセミナーの開催や創業者奨励金の執行、創業支援ポータルサイトを運用し、伴走型の支援を行った。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・副業や兼業を後押しする勉強会やセミナーの開催と社会人の学び直し(リカレント教育)	○	久留米地区職業訓練センターと連携したセミナー(イラストレーター・フォトショップ)等を開催し、支援を行った。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・デジタルテクノロジーを活用した市内人材の育成	○	こども向けパソコン教室等を開催し、デジタルテクノロジーの人材育成を図った。	A

2) 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み(戦略P121)

概要	うきは市の魅力を高め、対外的に情報発信を行うことにより、UJIターン者など都市部からの人の呼び込みを図り、多様な価値観を持つ市民の連携を高めることにより、地域の活性化を図ります。	KPI	うきは市へのIターン者	
		現状値	69人	R元年
ねらい	「住む」というテーマでうきは市の魅力を高めるためには、うきは市の資源を空間的、時間的な切り口で捉え活用を図るとともに、人々が世代を越えて永く定住できるように、災害に対応した安全安心な住環境や公共交通の整備、うきは市を知り郷土愛を深めることなど、多面的な形で環境整備を図ります。	目標値	100人	R7年
		最新値	87人	R5年

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度事業化	具体的な取組内容(又は取り組みない理由)	進捗状況
1 空き家の解消に向けて取り組みます						
KPI	老朽危険家屋除去件数	住環境建設課	建設管理係	平成29年度以降累計45件→105件	108件	令和5年度
①まちなみ再生と空き家活用支援	うきはブランド推進課	商工振興係 地域振興係	・市街地エリア内の空き家情報と利活用希望者をつなぎ、多様な利活用や活性促進	○	国等の補助事業を利用しながら物件の改修・利活用促進に向けた企画を実施し、地域住民や地域内事業者との関係の構築、事業を通じた庁内外の関係者との情報共有などを行った。	A
	うきはブランド推進課	地域振興係	・空き家物件を確保する中で障壁となる課題の整理と対策	○	空き家の活用相談窓口を随時開設した。	B
	うきはブランド推進課	地域振興係	・古民家の流通促進	○	古民家の活用相談窓口を随時開設した。	B
	うきはブランド推進課	商工振興係 地域振興係	・うきは駅周辺の空き物件を活性化した賑わいの創出	○	空き店舗等活用支援事業補助金事業等を実施し、うきは駅周辺の活用を模索した。	A
②誘致企業で働く就業者への支援	うきはブランド推進課	商工振興係	・都市圏から移住して就業する者への支援	○	無料職業紹介所事業を行い、都市圏からの移住を支援した。	A
2 減災・防災のまちづくりを推進します						
KPI	自主防災組織率	市民協働推進課	消防防災係	81%→95%	92%	令和5年度
①防災力強化事業	総務課 市民協働推進課	情報政策係 消防防災係	・SNSを活用した連絡網の構築	○	うきは市公式LINEアカウントを通じて避難情報の発信を行った。また、消防団で火災時の二次出動の指示をグループLINEで、全分団へ情報共有を行った。	A
	建設課 市民協働推進課	公共土木係 消防防災係	・河川氾濫監視システムや避難所対応等の減災に関するICTの活用検討	○	LoGoチャットを活用し、各避難所の開設状況や避難者数の報告を行うなどの取組を実施した。	A
	市民協働推進課	消防防災係	・避難所施設の通信環境の整備	×	避難所のWiFi設備整備を検討したが、財源を確保することができなかった。	C
	市民協働推進課	消防防災係	・自主防災組織化の推進と活動支援や避難訓練の取組	○	地域防災力強化事業補助金により、防災資機材、防災訓練、防災士の育成に対する支援を行い、新たに2名の防災士育成を行った。	A
②高齢者安全運転促進事業	市民協働推進課	消防防災係	・高齢者が運転する自家用車への踏み間違い防止装置や安全運転支援機能付きドライブレコーダーの設置支援	○	新たに14件のドライブレコーダー設置及び1件の急発進防止装置取付の補助を行い、高齢者の交通安全対策に寄与した。	A
③公園の再編	建設課	建設管理係	・点在する公園の適正な管理	○	草刈り及び樹木管理等に係る業務を実施し、各公園を適切に管理することができた。	A
	建設課	建設管理係	・子育て世代に魅力ある公園の再編整備	○	市職員で構成する検討部会等の答申を参考にして、吉井百年公園の整備ができた。また、市立公園数を12カ所から7カ所に削減できた。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容(又は取り組みない理由)	進捗状況
3 公共交通や周辺整備に取り組みます						
KPI コミュニティバス等の利用者数	市民協働推進課	コミュニティ支援係	コミュニティバスや乗合タクシー、補助金を支出している民間バス路線の総利用者数 11,027人→14,000人		11,337人	令和5年度
①新交通システムの導入検討	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・ITやAIを活用して輸送を効率化するサービスの実装に向けた課題整理と導入に向けた取組	○	ITやAIを活用して輸送を効率化するサービスの実装に向けた課題整理と導入のために市民ニーズ調査を行った。	A
	市民協働推進課 うきはブランド推進課	コミュニティ支援係 ブランド戦略係	・観光者の輸送実証試験	○	宿泊者向けタクシークーポンの助成(初乗り料金700円を助成)を実施。利用率は全体の6%程度となった。	B
4 郷土の魅力を高めます						
KPI 関係人口「UKIHA FANCLUB」会員数	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	450人→1000人		1,264人	令和5年度
①近代遺産の活用	生涯学習課	文化財保護係	・円形劇場や筑後吉井、新川田竜伝的建造物群保存地区の地域資源の活用	○	円形劇場については、わかば会100周年イベントにて多くの地域住民へ普及啓発ができた。また、筑後吉井伝建地区においては、官民連携による、古民家をリノベーションした宿泊施設等の活用が活発に行われている。	B
	生涯学習課 うきはブランド推進課	文化財保護係 ブランド戦略係	・デジタル技術を用いた地域資源のPR	○	古墳の墳丘や石室内の3Dデータを活用した、古墳カードの作成に取り組んだ。	B
	都市計画準備課	計画・準備係	・フィルムコミッションによる映画制作	○	NTT西日本グループによるWEB CM「地域ポイントによる住民参加型のまちづくり」の撮影支援や、筑後地域を舞台に撮影予定である映画の相談対応を行った。	B
②歴史的な小道を歩くフットパス事業	うきはブランド推進課	地域振興係	・耳納山麓や山城跡、温泉、田園など歴史ある地域資源や風景を楽しみながら歩けるフットパスの整備	○	歴史の小道については、森林セラピー事業等と連携し、古墳とウォーキングのコラボイベントを実施した。	B
	うきはブランド推進課	地域振興係	・森林セラピーにおける体験型プログラムの取組	○	森林セラピーの各種ツアーを実施した。	B
	うきはブランド推進課	地域振興係	・多面的な連携による回遊ルートの確保とPR	○	南北朝・菊池一族歴史街道推進連絡協議会による、歴史街道スタンプラリーを実施し、連携6自治体を巡ることで人の循環を促進し、観光振興と歴史文化振興を図った。	B
③現存する歴史的遺産を活かした観光振興事業	生涯学習課	文化財保護係	・装飾古墳が集積する地域の価値を見出して保存と活用を図る集客への取組	○	月1回の装飾古墳見学会及び古墳まつり等の新規イベントを実施し、古墳等の文化財資源の活用を図った。	B
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係 地域振興係	・棚田の保全と活用による関係人口づくりプロジェクト	○	年間を通して、つづら棚田で営農を学ぶ棚田学び隊の活動を行った。	B
④知識や能力を身につける「まなび舎うきは」	生涯学習課	社会教育係	・外国人を含む市民が活動や学習を通じて知識や能力を身につけ、地域社会に還元して生涯活躍できる社会を実現	○	うきは市民大学を開講し、4学部計62講座(自主運営含む)を展開し、運営を行った。	A
	うきはブランド推進課	地域振興係	・持続可能な社会に向けたエコミュージアムの実現	○	これまでの活動を記録した記念誌を作成し、講演会を開催した。また、水不足と老朽化により使用されていなかった小塩地区の綱唐臼の復元を行った。	B
⑤移住者向けの街なか案内事業	うきはブランド推進課	商工振興係 地域振興係	・移住者が速やかに市内の生活に溶け込めるように買物先や交通手段、子どもが遊べるところ等々を地域とともに紹介	○	うきは暮らしはじまりBOOKの配布を継続し、地域の紹介を行った。	B

3)結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市(戦略P123)

概要	うきは市が将来的に人口を維持していくためには、子どもを安心して育てられる環境を整備することが重要であり、このために各世代の特性に対応する形で環境整備を進めます。また、高齢化が進むうきは市においては、高齢者自体の生きがいづくりや社会参画を高めていくことが必要であり、この活力を子育て環境の充実に活かしていくことも重要です。	KPI	合計特殊出生率	
		現状値	1.65	平成25～29年
ねらい	子育て世代への支援を充実強化し、子育てしやすいまちにすることが目的です。また、すべての世代が安心して生活できるうきは市の形成を図るとともに、健康づくりに力を入れ、安定した社会保障制度を維持していく必要があります。	目標値	1.80	令和3～7年
		最新値	1.53	平成30～令和4年

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度事業化	具体的な取組内容(又は取り組まない理由)	進捗状況
1 子育て支援を推進します						
KPI 保育所入所待機児童数	福祉事務所	保育所係	5人→0人		0人	令和5年度
①小中高校における人材育成の推進	学校教育課 うきはブランド推進課	学事係 ブランド戦略係	・ふるさとの教育等を通じた地元への理解や愛着の醸成	○	市内小・中学校でのルリー口福岡の選手等の出前講座を開催した。	A
	学校教育課 うきはブランド推進課	学事係 ブランド戦略係	・地域と協働して地域を支える人材の育成	○	浮羽探究真館高校の2年生を対象に、シビックプライド醸成を目的とした「探究塾」を開催した。	B
②地域協働等による高校の魅力向上	企画財政課 うきはブランド推進課	企画調整係 ブランド戦略係	・高校と地域の多様な主体が連携し、高校生の興味関心と地域の課題を丁寧に取り合わせるための協働体制組織(コンソーシアム)の構築	○	浮羽探究真館高校からインターンシップの受け入れや、市内起業家による講演などを行い、協働体制組織(コンソーシアム)の構築を図った。	B
	市民協働推進課 うきはブランド推進課	コミュニティ支援係 ブランド戦略係	・地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実現する取組	○	浮羽探究真館高校の2年生を対象に、シビックプライド醸成を目的とした「探究塾」で、地域課題の解決にむけた学習を行った。	B
③子育てママの働く応援事業	福祉事務所 うきはブランド推進課	子育て支援係 商工振興係	・起業や就業を目指す女性等に向けた講座の実施や情報提供、相談	○	ベビーシッター養成講座等を開設し、女性の就業支援を行った。	B
	うきはブランド推進課	商工振興係	・U-BiCにおける女性の短時間就労支援等の取組の加速化	○	久留米地区職業訓練センターと連携し、イラストレーターとフォトショップの基本講座を継続して開催し、自宅で短時間でも仕事ができるスキルの習得を継続的に支援した。	B
2 結婚と出産したい希望を叶えます						
KPI 結婚新生活支援金交付件数	企画財政課	企画調整係	平成28年度以降 28件→78件		95件	令和5年度
①結婚理解促進活動	企画財政課	企画調整係	・配偶者に出会う場や機会など婚活への理解促進	○	福岡県と連携し、婚活のイベントやセミナー等の周知を行った。	C
②出産や不妊にかかる経済的支援	保健課	食育・健康対策係	・不妊治療への支援	○	不妊治療の経済的負担の軽減を図るために福岡県が行っている助成制度について、チラシの窓口配置、相談・電話対応等によりその周知、利用促進を図った。	C
	保健課	食育・健康対策係	・産後ケア事業の充実等を通じた妊娠や出産への支援	○	生後1年未満の母子を対象に、産後ケア施設にて日帰り又は宿泊にて母子のケアや相談等を行う産後ケア事業等を実施した。	A
③子育て世帯への支援	福祉事務所	子育て支援係	・出産応援金の給付	○	国の主導による伴走型支援で、母子手帳交付時と出産時に給付金合計10万円の支給を継続した。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容（又は取組まない理由）	進捗状況
3 うきはっ子が世界に羽ばたく教育を推進します						
KPI 自尊感情の向上	学校教育課	学事係	全国学習状況調査の4段階自己評価で、将来の夢や目標があるに4「そう思う」と回答した中学3年生の割合 35.9%→40.0%		30.5%	令和5年度
①英語力アップと異文化理解の相互交流	学校教育課	学事係	・幼稚園、小中学校での英語力向上の取組	○	民間事業所と外国人派遣契約を締結し、各小中学校に派遣し英語力の向上の取組を継続した。	A
	企画財政課	企画調整係	・近隣大学等と連携した外国人留学生等との英会話や異文化の相互交流	○	国際交流事業に対して補助金等の支援を行ったが、申請までに至らなかった。	C
②ICT教育の充実	学校教育課	学事係	・タブレット端末や情報通信ネットワークの整備	○	各小・中学校での整備が完了し、それを活用した授業等を継続した。	A
	学校教育課	学事係	・ICT専門コーディネーターの配置	○	ICT専門員を雇用し、各学校を巡回しICT教育の質の向上と教職員のスキルアップを継続した。	A
	学校教育課	学事係	・学力向上に向けたプログラミング教育等の推進	○	各小中学校においてプログラミング学習を継続的に実施した。	A
③子どもの生きる力の育成	生涯学習課	社会教育係	・体験学習や自然活動を通じた生きる力やたくましさの醸成	○	料理、陶芸やデイキャンプ、ドローン体験など、様々な取り組みを行った。	A
	生涯学習課	社会教育係	・離島での体験活動等と人的交流の推進	○	長崎県杓岐島での自然体験を実施し、島ならではの体験や離島の人との交流を行った。	A
	学校教育課	学事係	・中学校部活動指導コーディネーターの配置	○	中学校部活動の外部指導員を積極的に配置した。	A
④豊かな心育成事業	福祉事務所 生涯学習課	保育所係 社会教育係 スポーツ文化振興係	・音感(リトミック)教育や文化教育など人間の感性を活かす教育の提供	○	リトミックについては、講師派遣を行い市内9園で実施した。外国語教育については、外国人講師による英語レッスンを市内5園で実施した。文化イベントについては、外国人アーティストによる講演を行い、市内8園で実施した。	A
	福祉事務所	保育所係	・講師による保育士等への指導	○	資格を取得した保育士が普段の保育にリトミックを取り入れたり、より上位のリトミック資格の取得を行った。	B
	学校教育課	学事係	・専任スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置	○	小中学校配置のスクールカウンセラーと別にスクールカウンセラー配置し、各種相談体制の拡充を図った。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容（又は取組まない理由）	進捗状況
4 「うきは市＝健康のまち」を推進します						
KPI 市が主催や共催するスポーツイベント数	生涯学習課	スポーツ文化振興係	4事業→8事業		7事業	令和5年度
①スポーツと予防医療活動の推進	保健課 生涯学習課	食育・健康対策係 スポーツ文化振興係	・運動やスポーツの習慣化による健康のまちづくり	○	ニュースポーツであるモルックを自治協単位で開催するなど、身体的ハンデがない競技をきっかけとした運動への関心向上がみられた	B
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・温泉等との連携による予防医療活動	○	温泉利用者のニーズ等の把握が難しく、特別な取り組みは行えなかった。	D
	生涯学習課	スポーツ文化振興係	・トップアスリートとの触れ合いを通じたスポーツ人口の増加	○	スポーツ事業の体験型事業において、希望者だけでなく、小学校の授業の中で開催することで、幅広く児童とトップアスリートとの触れ合いの場を創出した	B
②うきは的健康事業の推進	生涯学習課	スポーツ文化振興係	・就学前児童への水泳などスポーツや運動習慣の推進	○	健康増進施設の指定管理者により、幼保年長児水泳教室を実施した。	B
	保健課 生涯学習課	食育・健康対策係 スポーツ文化振興係	・健康に結びつく事業同士の連携	○	健康増進施設である「うきはアリーナ」で住民健診や高齢者の体力測定を実施し、数値化することで健康寿命の延伸に必要な運動の習慣化へつなげた。	B
③生きがい対策プログラム	生涯学習課	社会教育係	・コミュニティや各種団体など職場と家庭以外の第3の場への参加の推進	○	高齢者の健康と生きがいづくり、高齢者学習の充実を目的に、うきは市民大学のいきいき学部で、講座を1つ、課外活動を9つ開設した。	A
	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・市民のボランティア活動の促進	○	各地区自治協議会において、高齢者等を対象とした見守り活動や、送迎サービス等の取り組みを継続して実施している。	A
④ウォーキングのまちづくりの推進	保健課 生涯学習課	食育・健康対策係 スポーツ文化振興係	・スマホアプリを活用した健康づくりや地域通貨との連動も視野に入れたスポーツの推進	○	母子保健に関するアプリ導入の検討を行った。	C

4) 時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携(戦略P125)

概要	価値観の多様性や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、社会環境が変化する中で、働き方改革や新たな生活様式への対応が必要になっています。うきは市の地域づくりにおいても、今後の社会のあり方を見据えて対応を図っていくことが重要となっています。	KPI	広域的連携事業(単なる会議等は除く)	
		現状値	31件	(うちの人的交流を伴うもの19件) 令和元年
ねらい	デュアルライフ(二拠点生活)をはじめとした多様な居住形態の実現や、地理的空間を越えた多様な地域間連携などを通じて、豊かな農村環境の中に存在しているうきは市の立ち位置を明確にし、うきは市としての個性ある地域の活性化を図ります。また、いつでもどこでも学べる生涯学習環境を整え、文化度の高いまちづくりを推進します。	目標値	50件	(うちの人的交流を伴うもの30件) 令和7年
		最新値	40件	(うちの人的交流を伴うもの19件) 令和5年

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容(又は取り組まない理由)	進捗状況
1 デュアルライフを促進します						
KPI 地域づくり活動費補助金 申請団体数	市民協働推進課	コミュニティ支援係	13団体→16団体		14団体	令和5年度
①UJターンやデュアルライフの促進	うきはブランド推進課	地域振興係	・UターンやJターン、Iターン、二地域居住生活者等への活動支援	○	市内の空き家を取得しリフォームする人へ空き家リフォーム補助金を交付するなどの支援を行った。	B
	うきはブランド推進課	地域振興係	・デュアルライフ大使の取組と活用	○	うきは市産の農産物のプロモーションイベントを、デュアルライフ推進大使と共催で、都市圏で開催した。	C
②つばめの学校	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・同窓会を通じた市外転出者との連携の構築	×	5類に移行したが、市外転出者が主な事業対象者となるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業実施を中止した。	D
	市民協働推進課 うきはブランド推進課	コミュニティ支援係 ブランド戦略係	・うきはへの再訪や新たな関係づくりを展開し、出会いの機会の創出と地域活性化の推進	○	うきはファンクラブの会員限定イベント等を開催するなどし、うきは市と新たな関係のきっかけづくりを行った。	B
③地域おこしリーダーの育成支援	市民協働推進課 うきはブランド推進課	コミュニティ支援係 地域振興係	・次代のまちおこし団体リーダーの育成支援	○	自治協議会に対し、県などが開催する各種研修会等の周知を行ったが、行政職員や自治協議会の現役役員の参加にとどまり、若年層の参加につながらなかった。	C
	市民協働推進課 うきはブランド推進課	コミュニティ支援係 地域振興係	・まちづくり団体の取組支援	○	まちづくり団体等の行う事業に対し、地域づくり活動費補助金を交付し支援を行った。	A
④ワーケーションの推進	都市計画準備課	計画・準備係	・勤務地以外の場所に設置するサテライトオフィスの立地促進	○	遊休施設の活用として廃校や普通財産の売却を進めたが、サテライトオフィスの立地には至らなかった	C
	都市計画準備課	計画・準備係	・ワーケーションの受入に伴う運営スキルの養成	○	福岡県が企業と連携してワーケーションを進める取り組みを進めており、富士通の社員の受け入れをうきは観光未来づくり公社とともに進めた。	B

事業一覧	課	係	事業内容	R5年度 事業化	具体的な取組内容（又は取組まない理由）	進捗状況
2 遠隔技術でつながる新たなスタイルを構築します						
KPI デジタル申請受付数	総務課 市民生活課	情報政策係 住民係	年間 0件→240件		387件	令和5年度
①生涯学習リモート(遠隔)講座の開講	生涯学習課	社会教育係	・専門的な講座や新規講座のリモートによる開催	○	市民からリモート講座開催の要望が少なかったため、対面での講座を行った。	D
	生涯学習課	社会教育係	・オンライン環境の整備	○	リモート講座開催にむけて、オンライン環境の整備を進めた。	C
②遠隔でつながる見守り活動	保健課	介護高齢者支援係	・新しい生活様式や緊急時に対応したタブレット等の整備とコミュニケーションの取組	○	見守りが必要と思われる高齢者に対して電話回線を利用した緊急通報システムを配備し、見守りシステムの拡充を継続した。	B
	保健課	介護高齢者支援係	・リモートによる見守り活動の実施検討	○	スマートフォンの活用が不可欠となっているため、高齢者のスマートフォン教室を開催するなどし、実施体制の構築を図った。	C
③各組織の役員の負担を減らす遠隔技術の活用	市民協働推進課 生涯学習課 福祉事務所	消防防災係 コミュニティ支援係 社会教育係 福祉係	・消防団やPTA、自治会、民生委員等の会合をリモートで実施する	○	・各地区自治協議会において、スマホ教室の開催を企画しリモート対応にもつながる取り組みを推進したが、各種役員等の研修に活かせなかった。	C
	市民協働推進課 生涯学習課 福祉事務所	消防防災係 コミュニティ支援係 社会教育係 福祉係	・情報収集や発信についてSNS等の活用を検討	○	一部の自治協議会でホームページの開設やラインの導入による情報発信の実施を継続して行った。	C
④協働のまちづくりを推進する遠隔会議の開催	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・リモートによる協働のまちづくりワークショップの開催	○	関係機関におけるリモートによる研修等の周知を行ってたが、なかなか参加するまでには至らなかった。	D
⑤デジタル社会の推進	総務課 市民生活課	情報政策係 住民係	・Society5.0社会の市民手続きのデジタル化とペーパーレス化	○	広報うきは「うきはっ子おめでとう」の掲載申し込みを公式LINEの申請フォームから行った。(127件)	A
	総務課	情報政策係	・デジタル変革に対応する時代にあったホームページの構築	○	AI情報収集サイトを公式ホームページに連携を行い、イベント情報の収集、発信に取り組んだ。	A
	総務課	情報政策係	・情報化アドバイザーの活用	○	政府が地方公共団体における情報システム等の共同利用、手続の簡素化、迅速化、行政の効率化等を推進する中、令和7年度までに地方公共団体の標準準拠システムへ移行することが求められているため、CIOを補佐するCIO補佐官の業務について民間事業者に委託し、情報システムの標準化・共通化に向けた施策面での助言や提案を求めた。	A